

平成 30 年 7 月豪雨に伴う石積砂防堰堤の 被災を受けた今後の取組みについて

平成 30 年 7 月豪雨に伴い、広島県内で発生した土石流等により、石積形式の砂防堰堤が破損する事例が生じました。これを受け、国土交通省において、検証チームを立ち上げ、広島県とも連携しながら被災原因の分析をするとともに、全国に設置された石積砂防堰堤の補強、改築等の対策について検討してまいります。

1. 検証チームの構成

広島大学大学院総合科学研究科 海堀正博教授（砂防）
防衛大学校システム工学群建設環境工学科 香月智教授（砂防構造物）
国土交通省国土技術政策総合研究所土砂災害研究部
国立研究開発法人土木研究所土砂管理研究グループ
国土交通省水管理・国土保全局砂防部

2. 検討内容

- 1) 被災原因となった土砂移動現象の整理
- 2) 石積砂防堰堤等の被災実態と被災原因の分析
- 3) 流域における石積砂防堰堤の補強、改築等の対策の考え方

問 い 合 わ せ 先			
国土交通省 水管理・国土保全局			
砂防部	保全課	砂防施設評価分析官	石塚 忠範（内線 36-241）
		課長補佐	鈴木 啓介（内線 36-232）
TEL：03-5253-8111（代表）、03-5253-8469（直通） FAX：03-5253-1611			